

2010年7月21日

9.5mm フィルム (パテ・ベビー) 研究 概要

東海大学 文学部 広報メディア学科 水島研究室

◆9.5mm フィルム (パテ・ベビー) とは

9.5mm フィルム (パテ・ベビー) とは、フランス・パテ社が開発した、小型撮影機とフィルムのことです。

日本では、1924年に伴野文三郎によって、「パテ・ベビー映写機」が輸入、全国各地でパテ・ベビーによる撮影会・コンテストが開催されました。そして、全国各地で愛好会が設立され、会報も出版されるようになりました。

しかし、1935年頃に最盛期を迎えましたが、1937年頃から戦争の影響を受けるようになり、各地で出版されていた会報は廃刊に追い込まれ、姿を消すことになりました。

◆目的

戦前の一時期 (1926-37年頃)、日本で全国的に流行したフランス・パテ社の小型撮影機と (9.5mm) フィルムは、戦後のマスメディアとは全く異なる映像文化を人々にもたらしたと言われていています。しかし、残念ながらその資料、素材の多くは埋もれたままになっています。

当時 9.5mm フィルムにて撮影していた人たちが、どのような人で、何を被写体にし、どのような気持ちで、どのようなことを考えながら、撮影をしていたのか。また、その映像を介して、どのような人々の結びつきが広がっていったかを、9.5mm フィルムの映像を見ながら探っていきます。

◆結果

ホームムービーの原点とも言われている 9.5mm フィルムの、メディア研究上の価値・ポジションを私たちに考察します。

◆方法

1. フィルム探し
ー実際にフィールドに出て、9.5mm フィルムを探し出す
2. 文献整理
ー当時のパテ・ベビーの愛好会の会報等の資料研究

◆フィルム探しに関して

神奈川県にある民家・企業に眠っている 9.5mm フィルムを探し出します。

探す方法として、テレビ神奈川様のオンデマンド放送にて、東海大学 水島研究室の学生が制作した VTR を配信していただきます。また、横浜コミュニティデザイン・ラボの方々のご協力のもと、多方面に渡り、9.5mm フィルム探しを告知します。

そして、告知をしつつ、フィルムを持っている方の情報収集、及び、発掘作業を行います。

◆フィルム探しに関するスケジュール

7 月中に、テレビ神奈川のオンデマンド放送にて流す VTR を完成させ、流せるようにします。

9 月からは今までに得た情報を使って、本格的に 9.5mm フィルムの発掘活動を行います。(ただ、9 月以前からできるようであれば、発掘を始めます)

12 月(今年中)までに、一定の成果を得て、今までの研究成果を論文としてまとめるようにします。

以上の日程を目安にフィルム探しを行いたいと考えています。

◆最後に

昔のフィルム、特に 9.5mm フィルムには、今は無き日本の姿・風景がたくさん残っています。そして、ホームムービーとして撮影されたからこそ、当時の生活の様子が鮮明に残っています。

記録しないと、記憶されない。当時の様子を知るためにも、昔のフィルムの研究が必要になっており、そして、今と過去とをつなげる鍵になっています。

ぜひ、私たち東海大学の学生の研究にご協力をお願い致します。

昔のフィルムに関する情報、またフィルムをお持ちの方がいらっしゃいましたら、私たちの基にご連絡いただけたら、幸いです。

◆連絡先

東海大学 文学部 広報メディア学科

水島研究室

E-MAIL : pathebaby_film@yahoo.co.jp

H.P : <http://pathe.kitanaka-school.net/>

以上